

平成 30 年 2 月 1 日

保険薬局各位

大阪労災病院薬剤部

服薬状況提供書（トレーシングレポート）の導入と運用について

平素より、当院の院外処方せん応需いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、日頃より処方箋に疑義がある場合は、疑義照会を行っていると思っておりますが、即時性の低い患者からの情報やアドヒアランス状況などの報告などについては、処方医へのフィードバックが困難な状況であったと思っております。

そこで今回、医薬品適正使用推進や医療安全の観点から、「トレーシングレポート」を導入することと致しました。今後、緊急性を要さない患者からの情報、服薬状況や軽微な副作用などに関する報告、処方内容に関する提案などは、トレーシングレポートを積極的にご活用頂ければ幸いです。

保険薬局の先生方と連携を推進することで、より適正で安全な薬物療法推進に繋がるものと考えています。皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

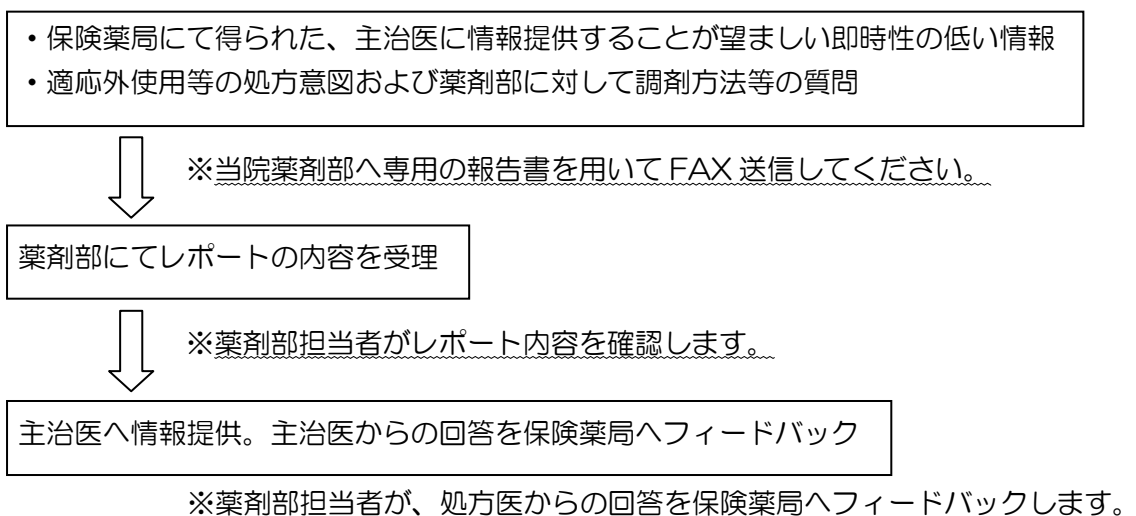
◆トレーシングレポートとは？

トレーシングレポートとは、服薬状況報告書や薬剤情報提供書などと言います。患者さんからの聞き取り情報（アドヒアランス、複数病院受診、OTCや健康食品の服用等）など、即時性の低い情報について医師へ情報をフィードバックするレポートです。※トレーシングレポートによる情報提供は疑義照会ではありません。

◆トレーシングレポートの目的

保険薬局で「即時性は低いものの処方医師へ情報提供したほうが望ましい」と判断された内容等を薬剤部で集約し、医師へ情報伝達を行い情報の共有化を図ります。

◆トレーシングレポートの流れ



服薬状況提供書（トレーシングレポート）

[PDF ファイル](#) [Word ファイル](#)